



みまっば子育て通信 第7号

幼児の親子ひろば「めばえ」

2023年2月14日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>

今年度4回目の親子ひろば「めばえ」です。1歳児の子ども達と保護者の方に、ゆったりと過ごして頂く少人数制のひろばです。感染予防対策を行いながら、地域の子育て広場としての役割を担えるよう、今後も開催を計画しております。どなたでも参加できますので、また是非遊びにいらしてください。

「めばえ」の流れ

開催日 2023年2月14日
10時～
お部屋で自由あそび
学生の手作り玩具・木の玩具・運動遊び・コマ製作など各コーナーで自由遊び

10時40分～11時
教員と学生によるわらべうた・手遊び・はみがきシアター・ふれあい遊びなどのお楽しみ

場所:美作大学本館多目的ホール

美作大学短期大学部の教員2名が常駐し、1歳児の遊び環境の中、子ども達の主体的な遊びを見守り、育児相談等に応じます。本学学生が、ボランティアで参加します。

次回「めばえ」開催予定月
2023年7月

場所:美作大学本館多目的ホール
津山市社会福祉協議会様からのメール配信と本学HPにて日時をお知らせいたします。

はぐくみ

*このコーナーでは大学の教員が、保育の専門的視点から子育てに関するメッセージをお届けします。

赤ちゃんは、ハイハイし始める生後6か月あたりまでは自分からくっついて行くことができません。そのため、泣いたり、見つめたりして、周囲の人を引き寄せます。こうして体のくっつきを誘導しているそうです(遠藤, 2017)。

抱っこやおんぶなどの体のくっつきを通して、“お父さん・お母さんと一緒にいれば大丈夫!”という安心を覚えていきます。体のくっつきを通して、次第に気持ちのくっつきが生まれてきます。気持ちのくっつきは、体がくっついていなくても“何かあれば守ってくれる、励ましてくれる”という安心感の感覚です。体でくっついて、気持ちでくっついて、親御さんから安心感や元気をもらって充電満タンになったお子さんは、自分から外の世界に飛び出していき、夢中になって遊び込んでいくようになります。しかし、時に転んで痛い思いをしたり、初めて出会う人と出会って不安になったりすることも経験します。そんな時は、安心感をもたらしてくれる親御さんの所に戻ってきて、体でくっつき、気持ちでくっついて、安心感を充電します。そして充電が満タンになると、再び自分から外の世界へと飛び出していくのです(遠藤, 2017)。

成長するにつれてお子さんは親御さんと気持ちでのくっつきを基盤にして、その気持ちのくっつきを親しい友達へと広げていくようになります。この時期に、沢山ご家庭でお子さんと体でくっついて、気持ちでくっついてもらえればと思います。

(引用文献)遠藤利彦(2017). 赤ちゃんの発達とアタッチメント, ひとなる書房, pp.68-73.





2022年12月19日開催
みまさか子育てカレッジ
親子広場「めばえ」

2023年2月14日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>

保護者の声

土粘土のきめの細かさを知ることが出来た。

粘土の上を歩いたりして感触を楽しんでいるようだった。

最初は粘土に対して少し遠慮していたが、だんだん乗ってきて最後は粘土遊びに没頭していた。

今の住まいでは粘土遊びなどなかなかできない。今日は広いスペースで楽しめて良かった。

学生さんが優しく楽しめた。



学生の声

それぞれの子でも遊び方が異なり、いろいろな個性を見られて良かった。

今までの実習の経験を活かしながら子どもとの関りや対応を考える良い機会となった。

子育て中のお母さん方の交流の場にもなっているようで自分たちにも学びがあった。

お母さん方と話をする機会があり、子育ての大変さや喜びを聞くことができた。

きめの細かい信楽すいひ粘土を約100kg用いて粘土遊びをしました。最初、ひんやりとした粘土の感触におっかなびっくりでしたが、次第に大胆な遊びが展開されていきました。

粘土の上をはだしで歩いたり、こぶしで粘土を叩いたり、粘土を積み上げてみたりと、全身でその重さや手触りを楽しんでいます。また、何かぶつぶつ言いながら粘土の上で足踏みをしたりと、思い思いの表現活動が見られました。

制限の少ない広く明るい会場で、お母さんと一緒に伸び伸びと活動ができました。

